

R 2年 年始訓示

皆さん、新年明けましておめでとうございます。
清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年も、こうして穏やかに新年をスタートすることができました。皆さん、気持ちを新たに、一年間ともに頑張ってください。

昨年、年末年始の訓示のやり方を変えましたので、今日も部課長以外の方々へは、イントラでのメッセージとなります。こうした取り組みが、職員の皆さんにとって、働き方を考える契機となれば幸いです。

新年は、年明けから、気候的にも温かい日が続く、平和な毎日を送ることができましたが、このまま安寧な一年を送りたいものだと考えておりました。

今年、東京オリンピック・パラリンピックの開催ということで、全国的には、これから徐々に機運が盛り上がっていくことでしょう。全体としてはお祝いムードだと思いますが、業務における影響に注意しながら、この機会をチャンスと捉えて前向きな対応もして頂ければと願っています。一方で、国内情勢だけでなく国際情勢の行方も、しっかりと注視していかなければならないと感じています。特に、今月末に迫っているイギリスのEU離脱や秋に行われるアメリカ大統領選挙、そして最近ではアメリカとイランの対立など、これらは、日本にとっても、大きな影響を受けることになるのではないかと危惧しております。

さて、私たちの仕事は年度で行っておりますので、3月までにしっかりと結果を残さなければなりません。また、令和2年度については、予算編成の最中であり、まだ具体的な話は申し上げられません。

そうした中ではありますが、年頭のあいさつということで、次の5点について、申し上げておきたいと思っております。

まず、1点目は、新たな総合計画がスタートすることです。総合計画の策定作業は大詰めを迎えておりますが、計画は作ってからが大事なわけで、計画の周知と初年度の取組みについては、特に力を入れていかなければなりません。施策の柱としては、「人づくり」を考えています。本村の強みは住民力にありますので、次世代の担い手を育てていくことが急務です。これは、特定の部署だけの話ではありませんので、全庁一丸となって取り組んでまいりましょう。

2点目は、子育て支援であります。昨年は、待機児童解消に向けた対策として、思い切って新設保育所の整備を決断しましたが、保育士の確保はまだ見通せません。現場の皆さんには、いろいろと負担を強いることになるかもしれませんが、何とか乗り切ってまいりたいと考えております。一方、昨年の出生数も前年に続き300人を切る見込みとなりました。本村にとっても大きな転換点だと認識しており、幼保施設の再編整備の在り方について方向性を示していかなければなりません。村民の皆様の理解を得ながら、しっかりと対応してまいりましょう。

3点目は、各種ハード整備の着実な推進であります。交流館整備や幹線道路整備、区画整理事業などは、本村にとって財政的負担が大きなものとなっておりますが、今後の発展には欠かせない「まちづくり」に必要な整備であると認識しております。また、本村の優位性や魅力を更に強力に発信していくコンテンツとしても大きな役割を果たしてくれるものと確信しております。こうした積極的な基盤整備は、まさに未来への投資であり、その成果を早期に村民に還元できるよう、事業推進に努めてまいりましょう。

4点目は、原子力政策であります。東海第二発電所を取り巻く状況は、一段と緊張感を増してくるのではないかと考えています。事業者が行う安全性向上対策が進められる中、広域避難計画の策定や住民の意向把握をどのように進めていくのかが問われています。避難訓練の実施を通して計画の実効性を確認するとともに、新たな住民の参画手法にもチャレンジしていかなければなりません。原子力と共に歩んできた本村だからこそ、その気概とプライドを保ちながら、積極的に対応してまいりましょう。

最後に、役場の一体感醸成であります。ここ数年、組織的課題や財政的課題が顕著になっており、役場内にも大きな不安や不満が生じているのではないかと感じております。私が提示する村長ミッションへの対応や年々増え続ける仕事の処理など、現場では大きなジレンマを抱えているのかもしれませんが。部課長の皆さんのマネジメント力にも期待しているところでありますが、もう一度、最前線で奮闘されている職員の皆さんの声に耳を傾けた組織運営や役場機能の向上を目指していかなければならないと考えているところであります。

今年も、各課にはいろいろな課題があると思われませんが、決して一人で抱え込むことなく、組織として対応するように心掛けて頂き、村民の皆さんの期待に応えてまいりましょう。

なお、毎年申し上げていることですが、心身の健康管理が第一でありますので、働き方改革も含め、無理をしないよう注意して頂きたいと思います。

そして、管理職の皆さんには、部下の様子や課内の状況に細心の注意を払って頂き、一人ひとりが活躍できる職場環境の実現に努めてもらいたいと思います。

結びに、今年一年が、皆さんにとって良い年になりますように、そして、本村にとりましてもすばらしい年になりますよう祈念いたしまして、年頭のあいさついたします。